

学生と対人援助の専門職による分野横断的な研究会

1. テーマ

当事者主権による支援のあり方

2. 目的

本学の学生と実践現場の専門職が、「当事者主権による支援のあり方」をテーマに、対人援助の専門職のあり方を「ともに学ぶ」研究会を実施し、次の3点の目的とする。

- ① 本学の学生は、対人援助の専門職が経験を積み上げた実践知である技能に触れることで、将来の対人援助の専門職として意識を醸成させる。
- ② 対人援助に携わる専門職は、学生と学ぶことで内発的動機づけを中心にワークモチベーションを向上させ、専門職として意識の変容を図る。
- ③ 学生及び対人援助に携わる専門職が分野横断的に交わることは、それぞれの専門性を相対的に捉えることにつながり、専門職としての意識を向上させる。

3. 主催

大阪人間科学大学 社会福祉学科 岩田研究室

(大阪人間科学大学薫英研究費助成事業)

4. 日時

2025年10月18日(土) 13:15~16:45 (受付開始 12:45)

5. 会場

大阪人間科学大学庄屋学舎 大阪府摂津市庄屋 1-12-13

6. 日程

- ① 受付 12:45~
- ② 認知症当事者による講演会 13:15~14:15
講師 京都府認知症応援大使 鈴木貴美江氏・鈴木佑三子氏(貴美江氏の娘)
京都市岩倉地域包括支援センター 松本恵生氏
- ③ 分科会 14:30~16:00
「当事者主権による支援のあり方」について小グループで討議
- ④ 総括 16:15~16:45

7. 参加者等

(1) 参加者

- ① 本学社会福祉学科及び作業療法学科学生
- ② 対人援助の実践者(社会福祉分野・作業療法分野)

(2) 参加費：無料

8.研究会申込

グーグルフォーム (<https://forms.gle/2gtEnRfNHp2zRob5A>) からお申込みください。
なお、フォーム入力が難しい場合は、電話及びメールでも対応可能です。下記事務局までご連絡ください。ご連絡いただいたのち、必要事項をお伝えします。



9.連絡事項

(1) 調査研究について

本研究会は、大阪人間科学大学薫英研究費の助成事業として実施します。本研究会に参加された方には、質問紙による調査へのご協力をお願いいたします。

調査の方法等は、次のとおりです

【調査方法】

- a. 自形式質問紙調査
- b. 回答者の属性以外は自由記述とします。
- c. 研究会参加者に質問紙配布し、記入後に郵送による返信を依頼します。

(2) 講演会講師のご紹介

鈴木貴美江さんプロフィール

松本恵生さんプロフィール



(3) ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 岩田研究室

06-6381-3000(大学代表) 06-6105-7104(研究室直通)

E-Mail : s.iwata-kun.ohs.ac.jp

(4) 会場までのアクセス

阪急正雀駅 徒歩 8 分 JR 岸辺駅 徒歩 15 分

